

報告事項3. 2021年度事業計画

1. 循環器学の研究及び振興を目的とする事業

(1) 研究会・学術講演会の開催事業

1. 第86回日本循環器学会学術集会(JCS2022)

- ① 会期：2022年3月11日(金)～3月13日(日)
会長：伊藤 浩(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 循環器内科)

会場：神戸国際会議場, 神戸国際展示場,
神戸ポートピアホテル

メインテーマ：ウィングを広げる循環器病学

- ② プログラム
- ・一般演題
(口述, ポスター, Featured Research Session)
 - ・美甘レクチャー
 - ・真下記念講演
 - ・特別講演
 - ・Opening session
 - ・会長講演
 - ・代表理事講演
 - ・プレナリーセッション
 - ・シンポジウム
 - ・会長特別企画
 - ・ジョイントシンポジウム
(AHA, ACC, ESC, CSC, KSC, APSC)
 - ・ラウンドテーブルディスカッション
 - ・トピック
 - ・コントロールシー
 - ・ミート・ザ・エキスパート
 - ・モーニングレクチャー
 - ・Late Breaking Clinical Trials
 - ・Late Breaking Cohort Studies
 - ・循環器教育セッション
 - ・日本心臓財団佐藤賞記念講演
 - ・2020年度採択医師臨床研究助成およびメ
ディカルスタッフ研究助成報告
 - ・審査講演会
YIA Clinical research部門審査講演
YIA Basic research部門審査講演
国際留学生YIA審査講演
コメディカル賞審査講演会
 - ・ガイドラインに学ぶ
 - ・各委員会セッション・セミナー
海外留学ネットワークングセミナー
留学支援助成報告会
禁煙推進セミナー
日本循環器学会蘇生科学シンポジウム
脳卒中と循環器病克服5カ年計画
シンポジウム

- ・倫理に関する講演会
- ・医療安全に関する講演会
- ・Circulation Journal Award Session
- ・チーム医療セッション
(一般演題, 教育講演, シンポジウム)
- ・サテライトセミナー(モーニングセミナー, ランチョンセミナー, ファイアサイドセミナー)
- ・機器・書籍展示

③ プレレジストレーション

学術集会参加者向けに, 参加登録, 教育セッション, ランチョンセミナー・ファイアサイドセミナーのプレレジストレーションを行う。

④ 印刷物・製作物

第84回学術集会関連の印刷物・制作物として, プログラム集, 電子抄録アプリ, 教育セッションテキスト, 企業展示ガイドブック, ピンバッジ, 英文パンフレットを製作する。

⑤ My Abstracts

演題抄録・チーム医療セッション抄録・共催セミナー抄録を検索し, 必要な演題の抄録だけを収録したオリジナル抄録集や日程表が作成できるサービスをWEB版とアプリ版で行う。

⑥ トラベルグラント

海外からの演題採択者への補助として筆頭著者にトラベルグラントを支給する。支給金額は, アジア近隣諸国は5万円, その他の国は10万円とする。

⑦ 発表データプレエントリー

学術集会発表スライドを会期前にWEBサイトで事前アップロードするための「発表データプレエントリーシステム」を公開する。

⑧ 託児室

学術集会会期中に参加者に対して英語対応可能な託児室を設置する。

⑨ 日本循環器学会ブースの出展

第86回学術集会の期間中, 展示会場にて学会活動紹介のためのブースを出展する。

⑩ 学会賞

以下の賞に関して, 受賞者を決定する。

第47回日本心臓財団佐藤賞

第39回YIA Clinical research部門審査講演

第39回YIA Basic research部門審査講演

第30回CPIS賞

第20回 国際 留 学 生 Young Investigators Award

Circulation Journal Awards for Volume 85, 2021

Circulation Journal Asian Award for
Volume 85, 2021
Best Reviewers Award for 2021
第17回心臓血管外科賞
第17回小児循環器賞
第16回循環器再生医科学賞
第15回女性研究者奨励賞
第12回コメディカル賞
第11回循環器臨床研究奨励賞
日本心臓財団・日本循環器学会2021年「心臓」賞

2. Asian Pacific Society of Cardiology 2022 (APSC2022)

会期：2022年3月11日(金)～3月13日(日)
会長：赤阪 隆史(和歌山県立医科大学 循環器内科)
会場：神戸国際会議場, 神戸国際展示場,
神戸ポートピアホテル

3. 第5回基礎研究フォーラム(JCS Council Forum on BCVR)

- ① 会期：2021年9月11日(土)～12日(日)
会長：望月 直樹(国立循環器病研究センター 研究所長)
会場：国立循環器病研究センター講堂
メインテーマ：Persistent spirits of inquiry
to uncover the truth hidden
in diseases
病因の真実に迫る 飽くな
き挑戦
- ② プログラム
Plenary Session, Keynote Lecture,
Sponsored Symposium, Award Session,
Poster Session,
Grant Session in Basic Research,
Progress Report for Basic Research

4. 日本循環器学会地方会

- ① 第125回北海道地方会
会期：2021年6月26日(土)
会場：WEB開催
会長：若狭 哲(北海道大学 循環器・呼吸器外科学教室)
- ② 第126回北海道地方会
会期：2021年11月27日(土)
会場：北海道大学学術交流会館
※ハイブリッド開催予定
会長：安齊 俊久(北海道大学 循環器病態内科学教室)
- ③ 第172回東北地方会
会期：2021年6月5日(土)
会場：WEB開催
会長：富田 泰史(弘前大学 循環器腎臓内科学講座)
- ④ 第173回東北地方会

- 会期：2021年12月4日(土)
会場：山形テレサ(山形市)
会長：渡辺 昌文(山形大学 第一内科)
- ⑤ 第260回関東甲信越地方会
会期：2021年6月19日(土)
会場：Web開催(Live配信予定)
会長：足立 健(防衛医科大学校 循環器内科)
- ⑥ 第261回関東甲信越地方会
会期：2021年9月6日(月)～9月12日(日)
会場：Web開催(オンデマンド配信予定)
会長：明石 嘉浩(聖マリアンナ医科大学 循環器内科)
- ⑦ 第262回関東甲信越地方会
会期：2021年12月4日(土)
会場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)
会長：桑原 宏一郎(信州大学 循環器内科学教室)
- ⑧ 第263回関東甲信越地方会
会期：2022年2月26日(土)
会場：Web開催予定
会長：諸井 雅男(東邦大学内科学講座 循環器内科学分野(大橋))
- ⑨ 第157回東海地方会
会期：2021年7月10日(土)
会場：Web開催予定
会長：松山 克彦(愛知医科大学 外科学講座心臓外科)
- ⑩ 第142回北陸地方会
会期：2021年6月26日(土)
会場：Web開催予定
会長：腰地 孝昭(福井大学 器官制御医学講座 外科学(2))
- ⑪ 第158回東海・第143回北陸合同地方会
会期：2021年10月23日(土)・24日(日)
会場：名古屋市内
会長：近藤 隆久(名古屋大学 肺高血圧先端治療学寄附講座)
- ⑫ 第131回近畿地方会
会期：2021年7月3日(土)
会場：Web開催予定
会長：勝間田 敬弘(大阪医科大学 外科学講座胸部外科学教室)
- ⑬ 第132回近畿地方会
会期：2021年12月11日(土)
会場：ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター
会長：川合 宏哉(兵庫県立姫路循環器病センター)
- ⑭ 第119回中国地方会
会期：2021年11月27日(土)
会場：岡山コンベンションセンター(岡山市)
会長：笠原 真悟(岡山大学 心臓血管外科)
- ⑮ 第119回四国地方会
会期：2021年12月4日(土)
会場：あわぎんホール
会長：細川 忍(徳島赤十字病院 循環器内科)
- ⑯ 第118回・第116回中国・四国合同地方会
会期：2021年6月5日(土)・6日(日)
会場：Web開催予定
会長：荻野 和秀(鳥取赤十字病院)
堀井 泰浩(香川大学医学部 心臓血管外科学)
- ⑰ 第130回九州地方会

会期：2021年6月26日(土)
会場：Web開催予定
会長：筒井 正人(琉球大学 薬理学)

- ⑱ 第131回九州地方会
会期：2021年12月4日(土)
会場：アクロス福岡(福岡市)
会長：三浦 伸一郎(福岡大学 心臓・血管内科学)

5. 地方会抄録検索システム

地方会症録オンライン検索システム「症例くん」
に、過去の地方会データを登録する。

(2)学会学術誌「Circulation Journal」「Circulation Reports」の刊行事業

- ① 「Circulation Journal」刊行事業(2021年度
刊行:Vol85-5～Vol86-4)
完全オンラインでの刊行事業を行う。ガイド
ライン部会と協働し、日本語版と同時に
英語版ガイドライン掲載を行う。
- ② 「Circulation Reports」刊行事業(2021年度
刊行:Vol3-4～Vol4-3)
完全オンラインでの刊行事業を行う。
Circulation Reports 独自の論文種別(Brief
Report, Statement/Opinion Articles,
Protocol Paper)をはじめとした、新規投稿
およびCirculation JournalからReject with
Transfer等から論文投稿を受け入れ、オン
ラインジャーナルの特性を生かし、採択か
ら公開まで迅速に対応する。
- ③ 質の向上のための事業
Circulation Journalは、Impact Factorの向
上を目指す為、Sister JournalのCirculation
Reportsだけではなく、日本循環器連合加
盟学会の英文誌と連携強化することを図っ
てゆく。また、CJ掲載内容のより充実さ
せる為の紙面作りと対策として、弊会作成
ガイドラインの英語版掲載を進める。また、
アジア諸国と行った臨床研究や作成した
ガイドラインの掲載やアジア諸国からの
Review論文掲載を進めていく。Circulation
Reportsは、質の高い論文投稿を受け入れ
る環境を整え、迅速に論文公開を行う。
両誌共通事項として、情報広報部会と連携し
て論文を更に広く周知するため、論文サマリー・
Central Figureを日本循環器学会公式Twitter
に掲載していく。加えて、Impact Factorの向
上に向けて、外部アドバイザー導入を検討する。
- ④ 二次使用許諾許可に関する事業
Circulation Journal Circulation Reports
に掲載されている図表等について、医療従
事者をはじめ多くの方々にさらに利用頂く為
の情報収集に努める。

(3)学術研究助成事業

1. ガイドライン事業

- ① ガイドライン誌発刊
・2020-2021年度年度活動ガイドライン(2021
年度発表)
- 1) 不整脈の診断と心臓突然死の予知に関
するガイドライン
(班長：高瀬凡平)
 - 2) 非心臓手術における合併心疾患の評価
と管理に関するガイドライン
(班長：平岡栄治)
 - 3) 先天性心疾患術後遠隔期の管理・侵襲
的治療に関するガイドライン
(班長：大内秀雄/河田政明)
 - 4) 末梢動脈疾患ガイドライン
(班長：東信良)
- ・2021-2022年度年度活動ガイドライン(2022
年度発表)
- 1) 循環器領域における睡眠呼吸障害の診
断・治療に関するガイドライン
(班長：葛西隆敏)
 - 2) 急性および慢性心筋炎の診断・治療に
関するガイドライン
(班長：永井利幸)
 - 3) 冠動脈疾患の一次予防に関する診療ガ
イドライン(班長：藤吉朗)
- ② 英語版
- 1) 不整脈非薬物治療ガイドライン(2018年
改訂版)(班長：栗田隆志/野上昭彦)
 - 2) 心筋症診療ガイドライン(2018年改訂
版)(班長：筒井裕之/北岡裕章)
 - 3) 冠動脈血行再建ガイドライン(2018年
改訂版)
(班長：中村正人/夜久均)
 - 4) 2020年改訂版 不整脈薬物治療ガイド
ライン(班長：小野克重)
 - 5) 2020年改訂版 大動脈瘤・大動脈解離診
療ガイドライン(班長：荻野均)
 - 6) 2021年改訂版 循環器診療における放
射線被ばくに関するガイドライン
(班長：上妻謙)
 - 7) 2021年改訂版 心血管疾患におけるリハ
ビリテーションに関するガイドライン
(班長：牧田茂)
 - 8) 2021年改訂版 重症心不全に対する植込
型補助人工心臓治療ガイドライン
(班長：小野稔/山口修)
 - 9) 2021年改訂版 循環器超音波検査の適
応と判読ガイドライン
(班長：大手信之)
 - 10) 2021年 JCS/JHFS ガイドライン フォ
ーカスアップデート版 急性・慢性心
不全診療(班長：筒井裕之)

- 11) 2021年 JCS/JHRS ガイドライン フォーカスアップデート版 不整脈非薬物治療 (班長: 栗田隆志/野上昭彦)
- 12) 不整脈の診断と心臓突然死の予知に関するガイドライン (班長: 高瀬凡平)
- 13) 非心臓手術における合併心疾患の評価と管理に関するガイドライン (班長: 平岡栄治)
- 14) 先天性心疾患術後遠隔期の管理・侵襲的治療に関するガイドライン (班長: 大内秀雄/河田政明)
- 15) 末梢動脈疾患ガイドライン (班長: 東信良)
- 16) 2022年JCS フォーカスアップデート版 慢性冠動脈疾患の診断と治療 (班長: 中埜信太郎)
- ③ ガイドラインフォーカスアップデート発刊
 - 1) 2022年JCS フォーカスアップデート版 慢性冠動脈疾患の診断と治療 (班長: 中埜信太郎)
- ④ ガイドブック発刊
 - 1) 「日本循環器学会 弁膜症治療ガイドブック:この弁膜症症例をどうする?」
・内容: 2020年発表「弁膜症治療のガイドライン」
- ⑤ 図表の転載申請の許諾
営利目的の制作物への図表転載申請を受け付け、転載許諾料を申し付ける。(※但し医学書については無料とする。)

2. 基礎研究、医師臨床研究助成およびメディカルスタッフ(医師の除く医療専門職)研究助成

2016年12月16日に制定された脳卒中と循環器病克服5ヶ年計画に基づき、5戦略の1つとして策定された人材育成を強化するために今後活躍が期待される若手基礎研究者5名に「基礎研究助成」、若手医師研究者最大3名に「医師臨床研究助成」とメディカルスタッフ最大3名に「メディカルスタッフ研究助成」を贈呈する。

3. 留学支援助成

学術集会の発展・医学研究の振興を願って、海外留学する循環器領域に著しい貢献が期待される若手研究者の経済的支援を目的に1件の留学支援助成を行う。

4. 循環器疾患の個別化医療実現のための 疾患発症予測・予防プログラムに関する研究助成

虚血性心疾患、心不全、心房細動の疾患発症の予測・予防に係るゲノム研究における2採択に対して1年目の研究助成を行う。

(4)登録・解析事業

1. 臨床効果データベース

各施設における拡張の検討を継続する。

2. 循環器疾患診療実態調査(JROAD)

- ① データ収集を行う。
- ② DPCデータを用いた心疾患における医療の質に関する事業
JROAD-DPCの運用を行う。研修・研修関連施設のDPC病院を中心にDPCデータの収集を行う。参加施設の増加、調査項目の見直しも検討する。
- ③ 公募事業
JROAD, JROAD-DPCデータを利用する研究公募を行い、データ提供の対価を研究者より受領する。
- ④ 事業モデルの確立
JROAD全体の事業体制整備の為、国立循環器病研究センター内Open Innovation Center (OIC) を利用し業務の円滑化および参加病院・企業研究委託を進める。JROAD, JROAD-DPC事業継続のため、企業に対しても有償でデータ提供を行うことを前提に企業との共同研究(コンソーシアム設立)や報告書を取りまとめることについて、企業に向けて説明会の開催を検討する。

3. BPA施設認定レジストリー登録

BPAの適応と実施に関するステートメントに沿って、認定施設、実施医、指導医の基準策定が関連学会との合意を受け、レジストリー登録を行う。

4. ウツタインレジストリー

消防庁救急蘇生統計(ウツタイン調査)データの検証を行い、蘇生科学と救急心血管治療に対する研究を世界に向け、論文・発表を展開して行く。

5. MitraClipレジストリ(J-Mitra)

MitraClip適正指針に沿って施設認定を行い、MitraClip適正使用のためのレジストリー登録を行う。

6. Watchmanレジストリ(J-LAAO)

Watchman適正指針に沿って施設認定を行い、Watchman適正使用のためのレジストリー登録を行う。

7. ビンダケル使用症例レジストリ

トランスサイレチン型心アミロイドーシス症例に対するビンダケル適性投与のための施設要件、医師要件に関するステートメントに沿って、認定施設、実施医の審査を行い、レジストリー登録を行う。

(5)交流事業

1. 国内交流

- ① 「日本循環器連合」の円滑な運営のため、各学会とリーダーシップミーティングを開催し議論を行う。
- ② ICD-CRT研修制度協議会の運営を行う。
- ③ 日本糖尿病学会と連携活動を予防委員会内にワーキンググループにおいて行う。
- ④ スtentグラフト実施基準管理委員会へ、実施基準に関する協議会(11学会)の1学会として参加する。
- ⑤ 循環器系のコメディカル関係学会とのジョイントセッションを双方の学術大会で開催する。
- ⑥ 医療放射線防護連絡協議会に理事を派遣する。

2. 国際交流

- ① 海外学会(AHA, APSC)へブース出展を行う。
- ② 各海外団体(ACC, AHA, CSC, ESC, KSC, APSC)とのジョイントシンポジウムを開催し、協議の機会を設け、関係を深める。
- ③ 国際留学生YIAの公募を行い、第86回学術集会で審査講演を行う。
- ④ 海外留学ネットワークセミナーを企画し、留学を希望する若手医師の交流の場を設ける。
- ⑤ アジアからの学術集会参加者が増えるよう、各団体への広報を強化する。
- ⑥ APSC2022を実施する。

(6)循環器学用語の検討

- ① 『循環器学用語集(第4版)』の完成、公開
昨年度より継続して取り組んできた用語集(第3版)の全面改訂作業を完了させ、第4版を公開する。
- ② 国際疾病分類(ICD)改訂に関わる対応
WHOおよび厚生労働省からの依頼を受け、ICD-11における循環器用語の対訳作業やICD専門委員会等への委員派遣を行う。
- ③ 循環器学用語集(Web版)の新機能検討
用語集システムを改修し、表示方法の改善やデータベースへの新語追加に有用な新機能を検討・開発する。

2. 循環器医師の教育及び専門性の向上を目的とする事業

(1)循環器専門医事業

1. 専門医制度事業

- ① 第32回循環器専門医資格認定試験を実施す

る。

筆記試験日：2021年8月22日(日)

会場：パシフィコ横浜(神奈川)

- ② 循環器専門医資格の更新審査を行う
(対象2,716名予定)。
- ③ 循環器専門医研修施設・研修関連施設の認定審査を行う。
- ④ 『循環器専門医』誌の発刊ならびに今後の発刊についての検討を行う。

2. 新専門医制度に伴う事業

- ① 症例登録評価システム(循環器J-OSLER)の運営を行う。
- ② 新専門医制度に対応した施設指定審査および指定施設の公表を行う。
- ③ 関連する領域と連動した循環器領域における制度の構築・運営を行う。

(2)循環器医師及びその他の医療関連従事者の教育・育成事業

1. セミナー

- ① 循環器専門医を志す研修医のためのWebセミナー
循環器疾患についての知識と情報を提供し、循環器診療の魅力を伝え将来循環器疾患診療に加わる医師を増やすことを目標とし実施する。全国の医学部医学科の学生をターゲットとに初期・後期研修医や、すでに現場で活躍する医師にとっても知識の整理に役立つ内容のWebセミナーを開催する。
- ② Webによる臨床研究・統計教育プログラム
主に若手の循環器内科医を対象とした臨床研究デザインや医療統計に関するWebによる教育コンテンツを提供する。
- ③ JCS-ITC(日本循環器学会国際トレーニングセンター)AHA心肺蘇生法コース
新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、次の各講習会を全国で開催する。
 - ・AHA BLSプロバイダーコース
 - ・AHA ACLSプロバイダーコース
 - ・AHA ACLS EPプロバイダーコース
 - ・AHAハートセイバーCPR AEDコースまた、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、インストラクター養成のため次の各講習会を開催する。
 - ・AHAコアインストラクターコース
 - ・AHA BLSインストラクターコース
 - ・AHA ACLSインストラクターコース
 - ・AHAハートセイバーインストラクターコース
 - ・AHA ACLS EP インストラクターコース
- ④ PCASセミナー
新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため

め、オンラインによる開催方法を検討していく。

- ⑤ コメディカルセミナー
メディカルプロフェッショナルを対象とした教育セミナーをオンラインにて開催する。

2. 教材

- ① 教育研修eラーニングの整備・運営
会員の知識・技能の向上を目的に、教育研修eラーニングのコンテンツを充実させる。2015年度に撮影されたeラーニングタイトルについて、既に委員を外れられている先生も査読委員として含まれているため、現在の委員の中から担当を再度決定し、内容の見直しを行う。
- ② 学術集会DVD、教育セッションDVDの製作・販売
第85回学術集会で開催されたセッションを、より多くの医師が視聴研修することを目的に、セッションを収録したDVDの製作・販売を行う。
- ③ 循環器専門医を志す研修医のための卒後セミナーの見直し
循環器疾患診療に加わる医師を増やすことを目標とした事業展開へと方針転換を求められていた卒後セミナーについて、Webでのe-Learningシステムを通じて、循環器疾患の知識と情報を提供し、循環器診療の魅力を伝える「循環器ベストティーチャーシリーズ」として、再構成を行う。
- ④ 統計解析合宿の見直し
これまでの統計合宿のあり方について検討を行い、新たにWebによるオンデマンド型・ライブ配信による「臨床研究・統計教育プログラム(案)」として再構成を行う。

3. 心不全療養指導士資格制度

第2回心不全療養指導士認定試験を実施する。
筆記試験日：2021年12月19日(日)
会場：全国都道府県での開催を予定

4. ダイバーシティ推進に関する事業

- ① 多様な世代、職種等が交流し、互いの理解、進歩を考える場を設け、発展していくための活動を行う。
- ② Travel Award for Women Cardiologists
本会の女性会員のキャリア支援を目的として、国際学会(ESC, AHA)において女性筆頭者が発表する優秀演題を顕彰する。
- ③ 女性循環器医コンソーシアム(JCS-JJC)
女性医師のリーダーシップ開発支援と就労継続、海外女性循環器医団体との連携を行う。
- ④ 特定看護師養成促進ワーキンググループ

働き方改革・タスクシェア実現に向けて、特定看護師・診療看護師の活躍を推進するための施策検討を行う。

- ⑤ U-40部会
学生・研修医に対する循環器領域への勧誘活動や若手医師のネットワーク構築を実現すべく、支部への活動支援を行う。

3. 循環器診療の社会への普及啓発及び社会還元を目的とする事業

(1)心臓移植等にかかる事業

1. 心臓移植に関する事業

- ① 心臓移植に関連する協議会等と諸問題について協議し、必要な要望などを関係各所に提出する。
- ② 心臓移植・心肺同時移植に関する適応検討及び、植込型VAD事後検証を行う。
- ③ 自施設内適応判定により移植された症例の事後検証を行う。
- ④ 心臓移植実施施設間の問題点、今後のあり方について協議を行う。
- ⑤ 医療従事者に対してのドナーアクションを行う。
- ⑥ 心臓移植申請症例データベースの構築に向けて検討を行う。
- ⑦ 心臓移植並びに心肺同時移植に係る審議(実施施設の認定審査を含む)を行う「心臓移植・心肺同時移植関連学会協議会」の事務局運営を行う。

(2)広報・啓発事業

1. プレス向け

- ① 記者発表の開催
必要な事業内容についてプレス向けに記者発表を行っていく。

2. 市民向け

- ① 第84回学術集会市民公開講座(会長企画)
- ② 心肺蘇生法市民公開講座
学術集会、地方会で一般市民を対象とした心肺蘇生法の講習会を開催する。開催方法については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、オンラインによる方法を含めて検討する。
- ③ 心不全予防啓発の推進
短時間動画を作成し公開することや、ウェブセミナーを開催し疾患とその予防に関する啓発を行う。
- ④ 禁煙啓発キャラクターを使用した禁煙啓発活動
各地の市民向けイベントに禁煙相談ブースを設置し、喫煙者への禁煙啓発を促す。ま

た、本会の禁煙推進キャラクター「すわん君」のTwitterを通じて本会の禁煙啓発活動を広く周知する。

- ⑤ 禁煙教材の作成
禁煙パスポート、DVD、ポスターの制作、販売を行う。
- ⑥ Twitterの活用
広くSNSを通じて情報を拡散するために、Twitterを活用した広報を行う。
CR、CJからの論文紹介や地方会、学術集会の中の演題内容やインタビュー投稿などを即時行うことで、常に新鮮な情報を一般、医療従事者、会員問わず国内外に発信する。
- ⑦ ウェビナーを活用した啓発活動
新しく取り入れた配信システムを活用し、情報広報を行う。
1回の配信につき、1つのテーマに絞って専門家の医師と禁煙啓発キャラクターすわん君等を司会進行に取り入れることで多くの視聴者が気軽に予防啓発を学ぶ機会の場を作っていく。

3. 会員向け

- ① 学会Webサイトの運営
学会公式Webサイトにおいて、継続して学会からの情報発信を行う。また、リニューアル後の精査を実施し英語版サイトの充実を図る。
- ② ニュースメールの配信
会員への情報サービスとして学会からの各種お知らせを「JCS News Letter」として配信する。

4. 官公庁等への働きかけ

- ① 診療報酬に関する調査
関連学会と協力し診療報酬改定後の影響について調査を行い、要望等を行う。
- ② 循環器救急の実情に関するアンケート調査
診療報酬改定に伴う救急医療への影響を調査する。
- ③ CCU加算に対する働きかけ
心血管疾患特定集中管理料を算定出来るように、集中治療医学会と連携しながら、新設を求めて活動を行う。

(3)医療事故調査制度

2015年10月から開始された「医療事故調査制度」について、本会は病院での院内調査および医療事故調査・支援センターのセンター調査への専門家の派遣を行うこととなっており、依頼があった場合は専門家を派遣する。

(4)鑑定人推薦依頼

最高裁判所からの鑑定人推薦依頼に専門家を派遣する。

(5)終末期症例登録について

救急医学会、集中治療医学会、循環器学会3学会合同で、終末期症例登録システムを構築する。

4. 循環器領域に関係する他団体業務の委託

- 1. 「禁煙推進学術ネットワーク」事務局業務の受託
参画学会の中心メンバーとして他学会との連携強化、5カ年計画の禁煙予防分野としての推進を図る。

5. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

1. 循環器病克服5カ年計画事業

第2次5カ年計画でも、5年間で脳卒中・心血管病による年齢調整死亡率の5%減少および健康寿命の延伸を大目標とした。目標達成に向け、「脳卒中・心不全・血管病を重要3疾病と定め、「人材育成」「医療体制の充実」「登録事業の促進」「予防・国民啓発の促進」「基礎研究の強化」の5戦略を通じて、本会の今後5年間の事業について計画・実行する。

2. 大規模・中規模災害に対する対応

過去に発生した災害をモデルとして、災害発生時に本会や関係団体が取るべき対応を検討し整理する。

3. 会員システムの運用

会員の学会活動における利便性向上を目的とした会員ポータルサイトの改善を行う。また学会運営や会員サポート、保守性の維持向上のために常時改修等を行う。

4. 勤務医師賠償責任保険

本会の勤務医師賠償責任保険を運用する。会員は割引価格で保険に加入でき、本会には医師賠償責任保険料の5%、総合補償保険の3%が収益となる。

5. FJCS制度

会員の学会活動への活発な参画により本会を活性化させるため、フェロー会員の認定を行う。また、国際版FJCS制度では海外団体からの推薦による受付を開始する。

6. 会員への周知

会員に向けて周知すべき事項を案内するため、

会告2021 No.2～No.4・2022 No.1を発刊する。
冊子での配布は有償とし、メール及びホームページにて会員に公開する。